

town

小さな拠点づくり

Creating a small base



私たちの町をご紹介します



大田市

北三瓶地区

(北三瓶よろず会)

三瓶山のふもとに広がる 自然の神秘あふれる地区

北三瓶地区は大田市街地から県道56号線に沿って南東へ約17kmの三瓶山の北側のふもとに位置します。北三瓶地区を構成する山口、多根、野城の3つの地域は、かつての出雲国と石見国の国境にまたがっており、出雲と石見の地域性が入り混じったユニークな土地柄です。

三瓶山とのつながりは強く、地区内には三瓶山の古名「佐比賣山(さひめやま)」を継ぐ「佐比賣神社」があり、神社に奉納される多根神楽は、大田市の指定無形文化財に指定されています。

また、三瓶や島根の自然、生物について、見て触れて学ぶことのできる「島根県立三瓶自然館サヒメル」や、四千年前の森の姿を今に伝える埋没林を展示した「三瓶小豆原埋没林公園」があり、県内外から多くの人々が訪れます。縄文時代から現代に続く、この地域にまつわる文化や歴史を学びながら、三瓶の雄大な自然を感じることができます。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのため知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり

idea

小さな拠点づくり
Creating a small base

大田市

北三瓶地区
(北三瓶よろず会)



私たちの
アイデア

備えることで安心に
暮らせるまちづくり
「自主防災の取組」



目標

コロナ禍で活動が制限される中、もう一度原点に戻り、地域づくりの活動を見つめ直す時を迎えています。地域というもの生き物のように時代によってどんどん変化しています。無理のないところで、その時々にある問題に柔軟に対応しながら、北三瓶の3つの地区が1つになって地域課題の解決に向けた取り組みを続けていきたいと考えています。

活動内容

北三瓶よろず会の担う役割の一つとして、2014年に自主防災会を設立しました。災害時における住民の避難場所について考えようと、地域の航空写真を撮影して危険箇所や避難場所を確認しました。それらをもとに15の小自治会それぞれの防災マップを作成し、救急医療情報キットと一緒に全戸に配布。また、発電機、土嚢袋、ブルーシートといった災害時に必要なものを小自治会ごとに配置して備えることで、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

きっかけ

少子高齢化が進む中、野城、多根、山口の3地区が連帯して一緒に地域課題に取り組もうと、2012年に「北三瓶よろず会」を結成。2014年からは北三瓶よろず会の実働部隊として、「農林畜産業」、「生活・環境」、「交流・定住」の3分科会に分かれて活動をはじめました。「北三瓶は一つ」をスローガンに、一人一人が地域の今と将来に関わり、みんなが元気に楽しく暮らし続けられる地域づくりを目指しています。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり

idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

大田市

北三瓶地区

(北三瓶よろず会)



私たちの
アイデア

ふれあい弁当で
触れ合う心
「配食サービスに
あわせた見守り活動」



目標

活動内容

きっかけ

まちのひとの声



ふれあい弁当を届けてもらう時に「どうしてましたか?」と気遣ってもらえるのがうれしいです。世間話もできるので、いつも楽しみにしています。

コロナ禍で活動が制限される中、もう一度原点に戻り、地域づくりの活動を見つめ直す時を迎えています。地域というものは生き物のように時代によってどんどん変化しています。無理のないところで、その時々にある問題に柔軟に対応しながら、北三瓶の3つの地区が1つになって地域課題の解決に向けた取り組みを続けていきたいと考えています。

北三瓶よろず会の生活・環境分科会が2015年に高齢者を対象に聞き取り調査を実施したところ、地域内で車の運転を控える方や車を持っていない方等が増加しており、買い物など生鮮食品の調達が困難なため、食事の栄養バランスが偏ってしまうという声がありました。そういった課題を解決するため、週一回の配食サービスを始めました。地域のボランティアスタッフが個別に配達し、電球の取替えといった困りごとの解決や見守りを兼ねた声かけなど、高齢者と心の触れ合う活動になっています。

少子高齢化が進む中、野城、多根、山口の3地区が連帯して一緒に地域課題に取り組みようと、2012年に「北三瓶よろず会」を結成。2014年からは北三瓶よろず会の実働部隊として、「農林畜産業」、「生活・環境」、「交流・定住」の3分科会に分かれて活動をはじめました。「北三瓶は一つ」をスローガンに、一人一人が地域の今と将来に関わり、みんなが元気に楽しく暮らし続けられる地域づくりを目指しています。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり